

## 指定管理者評価表

様式1

## 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市立農業公園 (加工体験施設)	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
南部丘陵地の豊かな自然環境を活用し、市民にレクリエーションの場を提供するとともに、都市農業の振興を図るため	
<b>(3) 所管部局</b>	
産業振興局 農政部 農水産課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
株式会社 堺ファーム	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成26年4月1日から平成31年3月31日まで (5年間)	
<b>(6) 主な事業</b>	
<p>○施設の運営に関すること</p> <p>①職員の配置に関すること</p> <p>②農業公園の集客、料金徴収に関すること</p> <p>③農産物加工体験ゾーンに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品製造に関すること</li> <li>・加工体験試食室に関すること</li> <li>・動物の飼育に関すること</li> <li>・特産品加工工房の運営に関すること</li> <li>・菜園の運営管理に関すること</li> </ul> <p>○施設の維持管理に関する業務</p> <p>○自主事業の計画、実施</p>	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有 (利用料金制)	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
<p>非公募</p> <p>(非公募の理由)</p> <p>ハーベストの丘は、農業振興と集客事業を複合的に推進する必要がある円滑な事業運営を図るには地元農業団体、民間事業者の経営ノウハウの活用が欠かせないものであることから、平成10年11月に堺市と株式会社ファームとの間で「緑のミュージアムの整備運営に関する基本協定」を締結した。この基本協定においては、堺市と株式会社ファームは共同してハーベストの丘を設置することを約定し、公共施設と民間施設の設置および運営管理の役割分担を定めている。また、施設の管理運営を行うに当たっては、堺市と株式会社ファーム及び堺市農業協同組合が経営参画する2法人を設立し、互いに連携協調し事業を推進してきた。さらに、株式会社堺ファームには、農産物加工や製造等の特殊技術及び集客ノウハウを有することから、開設当初から再委託等により実質的に農業公園「加工体験施設」の管理運営にかかわってきた実績と、ハーベストの丘において自らの農業公園を運営してきた実績がある。</p> <p>堺市立農業公園には、上記のような施設の設置・運営経緯並び平成18年度からの指定管理者としての実績を加え、ハーベストの丘全体の効率的な運営を行うために本市が出資した法人である株式会社堺ファームを「加工体験施設」の指定管理者として更新するのが最も適切であり、他の団体ではこのような連携協調した管理運営は望めないものと考えられる。</p>	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
都市住民	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
滋賀農業公園「ブルーメの丘」、岡山農業公園「岡山ドイツの森クローネンベルグ」	

## 2 管理運営状況

## (1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

- 地元地域、鉢ヶ峯営農組合様と連携し、当園の利用者をたけのこ掘り・田植え・稲刈り・いちご収穫等の農産物収穫体験を行った。
- 南区まちづくり事業の田植え体験や駅伝大会等、地域貢献の一端を担った。
- 地元地域、御池台のアドプト・ロード・プログラムに参加し、清掃活動等を行った。

## (2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
指定管理者名	㈱堺ファーム	㈱堺ファーム	㈱堺ファーム	㈱堺ファーム	㈱堺ファーム
ア 利用者数 (人)	442,273	462,791	401,975	380,033	450,000
イ 稼働率 (%)	-	-	-	-	/
ウ 利用者満足度 (%)	77	76	88	92	
「利用者サービス」における市による状況分析	イチゴ摘みをはじめとする農産物収穫体験や、子供に人気の動物とのふれあい、大人に人気の季節の花畑の充実を図り、利用者サービスの向上を実施している。				

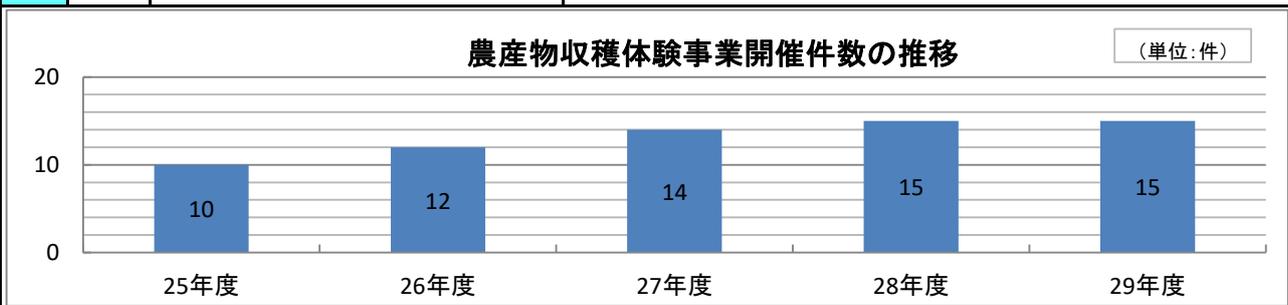
## (3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度(税込)	平成27年度(税込)	平成28年度(税込)	平成29年度(税抜)	平成30年度予算(税込)
ア 収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	242,264,523	270,750,171	247,349,962	213,559,153	279,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	11,862	11,133	403	271	0
合 計		242,276,385	270,761,304	247,350,365	213,559,424	279,000,000
イ 支出	人件費	91,040,673	98,289,464	101,036,551	91,544,856	104,200,000
	委託料 ( )内は総支出額に占める委託料の割合	15,659,164 (6.5%)	16,874,713 (6.5%)	15,398,854 (6.2%)	13,153,271 (6.2%)	18,000,000 (6.7%)
	その他経費	88,693,173	88,047,556	76,243,118	68,064,734	84,600,000
	売上原価	46,354,439	54,536,345	54,486,189	40,888,823	60,700,000
合 計		241,747,449	257,748,078	247,164,712	213,651,684	267,500,000
利用者一人当たりの支出額		547	557	615	562	594
ウ 収支差額		528,936	13,013,226	185,653	-92,260	11,500,000
エ 市への納付金の額		-	-	-	-	-
オ 徴収委託の場合の徴収額		-	-	-	-	-
「収支状況」における市による状況分析		<p>収益については、入園者数減少(前期比94.5%)に伴い、入園料収入及び加工体験試食室、加工体験工房等の売上は230,643千円(前期比93.2)、売上総利益172,670千円(前期比89.5%)と減少している。</p> <p>支出については、施設毎の繁忙期と閑散期に応じて体制を切り替えるなどの経費削減に努めており、入園者数減少の影響を最小限にとどめることができた。</p>				

### 3 目標管理、評価等

#### (1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	農産物収穫体験事業開催件数	(設定理由) 農業公園として、利用者期待度の高い収穫体験を実施することにより、適正な管理運営の確保に繋がります。
	目標	年間実施回数 10回以上	(設定理由) 仕様書で求める市の目標を基準に設定
	実績	年間実施回数 15回	(分析) 今年度の実施件数15回、15,286人。 ※目標未達成時は詳細な原因分析 季節毎にジャガイモや、ナス、サツマイモ・ダイコン等の収穫体験を積極的に実施し、また「チューリップの花摘み体験」も新たに実施しました。



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	農産物収穫体験については専門的知識のある人材を配置し、また、近隣農家とも連携を図り、たけのこ掘りや田植え体験等を実施しています。
---------------------------------------	--

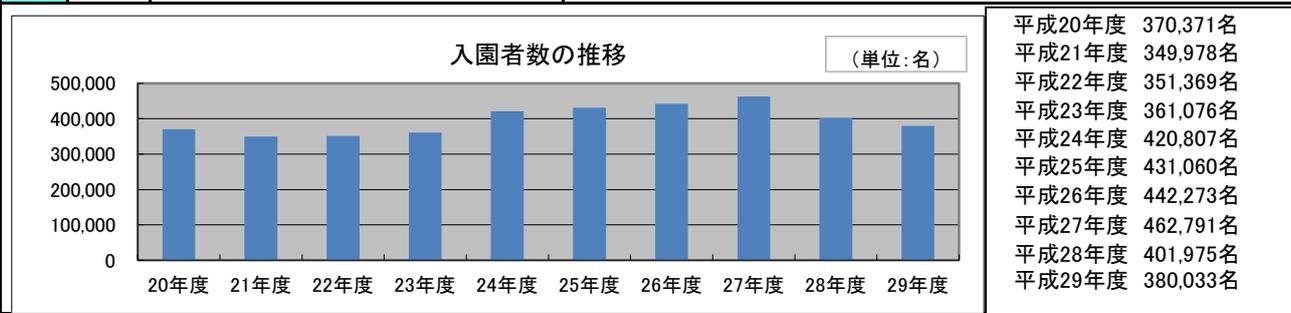
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	いちご収穫体験のシーズンにおいては、体験を希望される方が非常に多く、収穫量の都合上、相当数断っている現状があります。収穫量の増加を目指し、栽培技術の向上に努めるとともに、ハウス増設も提案していきます。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A	A	
	具体的な理由	目標10回以上に対して、15回実施し、農業公園として、ひとつの役割を果たしていると言えます。 中でも、いちご収穫体験は人気が高く、園内外を合すると年間約1万人の方が利用されています。	開催件数は目標値を大きく上回っており、農作物収穫体験を効率的に実施している。また、利用者の満足度は高く感じられる。	
対応策等	毎年新しい農産物の収穫体験等を実施していくことにより、更なる利用者満足度の向上を図っていきます。	季節毎の農産物収穫体験をはじめ、新たに「チューリップの花摘み体験」を実施しており、利用者満足度は高く感じられる。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者数	(設定理由) 利用者サービスの向上による結果が数値として反映される為、ひとつの指針となります。
	目標	500,000人	(設定理由) 仕様書で求める市の目標及び開園当初からの目標を基準に設定。
	実績	380,033人	(分析) 上半期は約8千人増加にて推移しました。しかしながら、秋季においては連日の天候不良、台風による大雨の影響等もあり、第3四半期に約24千人減少となりました。また、施設価値を高める為に入園割引等を縮小したことも要因として挙げられます。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	今年度はアンケート調査結果を反映させた取組みとして、特に人気の高い動物イベントや花の植栽、収穫体験の充実を図り、利用者満足度の向上に努めました。
--	--

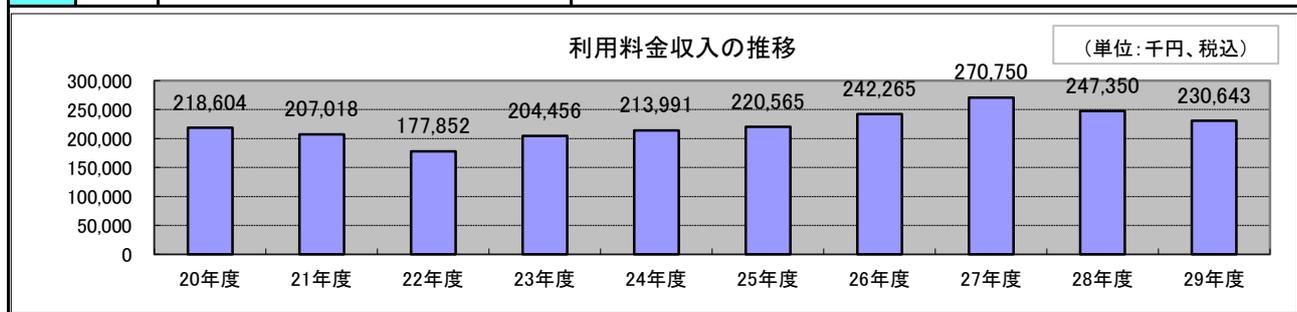
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	定期的に入園ゲート付近にて、利用者のアンケート調査を行い、その調査結果を反映させた取組みを行っています。苦情については、真摯に受けとめ適時適切に対応しています。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	C	C	C
	具体的な理由	目標50万人に対して、実績約38万人(目標対比76.0%、前年対比94.5%)という厳しい結果となりました。今年度の利用者については、リピーター比率が高い傾向にあり、特に新規利用者が増加していないことが課題としてありました。	天候による影響は否めないものの、平成28年度からの減少傾向が継続する結果となった。新規利用者が増加していない要因を分析し、具体的方策が求められる。	
対応策等	秋季にホームページのリニューアル行いましたが、さらに見やすく興味を高める内容に改善し、また新たに駅構内の広告宣伝を強化する等、新規の集客向上を図っていきます。	広告宣伝のターゲット(リピーター・新規利用者)を明確化し、集客力の向上に努めることが効果的と考えられる。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 健全な経営を遂行する指標となります。
	目標	200,000,000円(税込)	(設定理由) 仕様書で求める市の目標(200,000千円以上)及び、事業計画予算により設定
	実績	230,643,119円(税込) 213,559,153円(税抜)	(分析) 目標水準である200,000千円に対し、29年度実績230,643千円(115.3%)と目標を上回る結果となりましたが、前年比較すると入園者数の減少により対比93.2%と下回る結果となりました。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	平成28年度までは税込でしたが、平成29年度決算より税抜となりました。 入園者数が減少に伴い、利用料金収入も減少しましたが、客単価は前年度241円から今年度263円と約22円向上しました。
------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	料金についての苦情等はありませんでした。 駐車場無料や、年間入園パスポート料金は安いと喜んでいただいています。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	入園者数減少により、前年を下回る結果となりましたが、目標である200,000千円に対しては115%と水準を満たしました。	収益については、入園者数減少(前期比94.5%)に伴い、入園料収入及び加工体験試食室、加工体験工房等の売上は230,643千円(前期比93.2%)、売上総利益172,670千円(前期比89.5%)と減少している。 支出については、施設毎の繁忙期と閑散期に応じて体制を切り替えるなどの経費削減に努めており、入園者数減少の影響を最小限にとどめることができました。		
対応策等	新規投資や修繕を行うとともに、サービスの向上にも力を入れ、魅力ある施設作りを行います。利用者数の増加により利用料金収入の増加に繋がっていきます。 また、販売費及び一般管理費の削減にも努め、安定的な運営を行っていきます。	施設の新規投資や修繕を適切に行うことで農業公園全体が活性化し、利用料金収入の増加につながることを期待する。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの